

地域福祉委員会Q & A【活動編】

※「町会・町内会」を「町会」と表現を統一して、記載することをご了承ください。

Q1 地域福祉委員会では、どんなことを、どんなふうに話し合えばよいのですか？

A1 まずは、町会・町内会(以下「町会」という)の現状把握から話題にしてはどうでしょうか。

例えば・・・ ①一人暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯がないか。

②閉じこもりがちで、あまり隣近所とも付き合いのない人はいないか。

③やや足腰が不自由で、災害時等に手助けが必要な人はいないか。

④気にかかる子どもや、子どもの危険に関わることはないか。 等々

そして、それらの人(世帯)の現状はどうなのか、困っていることは何なのか、その課題を解決に向けてどう対応していけばよいかを協議するような進め方はどうでしょうか。ただ、上記①～④は個人的で具体的な内容になることもあり、メンバーが多くなる全体会で協議することが難しいようでしたら、まずは少人数で構成する幹事会で協議し、幹事会からの提案・報告として全体会につなげ、全体会で課題共有することが望ましいでしょう。

Q2 地域福祉委員会のメンバーは、本来の役(係)を持ち、町内行事他いろいろと担っていて福祉のことまで気がまわらなかつたり、福祉について普段からあまり意識していない人もいますが、委員会のメンバーは、新たに地域の福祉活動もしなければならぬのですか？

A2 地域福祉委員会のメンバーで、**A1**のような協議をしますが、それを実践していく活動に、メンバーが必ず参加するというものではありません。要援護者の日常的な見守りや個別支援の活動は、その人(世帯)の隣近所や親しくしている人をお願いしたり、また、町民のふれあい交流、健康づくり等の行事や、町内の清掃等の活動で、要援護者の困りごと等の課題に対応できるようであれば、それらを行っている公民館や各種団体をお願いしたりと、多くの町民に協力を得て、町ぐるみで福祉活動に取り組んでいくことが望ましいでしょう。

Q3 町会によっては、各種団体が、健康教室、運動会、夏まつり、文化祭、清掃や粗大ゴミ収集、登下校の児童の見守り、いきいきサロン等を行っていますが、これらの行事と地域福祉委員会との関係はどのようにすればよいのですか？

A3 より多くの町民と顔を合わせ声を掛け合うことから、親しみを持ち、助け合う気持ちが生まれてくるのではないのでしょうか。各町会では、町民総出の清掃等の奉仕活動をはじめ、公民館や各種団体も、それぞれに目的をもって行事や活動を行っていますが、多くの町民がそれらに参加して、いろいろな人とふれあうことが、「支え合う地域づくり」の第一歩です。

このような考え方から、町会のすべての行事・活動が地域福祉委員会の活動として位置づけられます。地域福祉委員会(幹事会)では、それらの行事・活動の中に、より福祉の視点や要素を採り入れることができないか等を検討し、必要であれば、主催している公民館や各種団体と話し合っ、改善していくことが望ましいでしょう。

A3補足 既存の行事に福祉の視点や要素を採り入れるとは、例えば、既存の行事に、高齢者や障害のある方も参加しやすく配慮し、工夫して行うことが、1つの取り組みになります。また、いきいきサロンを開催している場合は、要援護者もサロンに参加しやすくし、普段の生活上の困りごとや心配ごとが自然に話し合えるような工夫をすることで、サロンが地域の課題把握の場となり、その課題を地域福祉委員会に繋げるという循環をつくることができます。

Q4 地域福祉委員会の活動を進めていくには、まず、町会長の理解が必要ではないですか？

A4 【組織編】**A4**とも重なりますが、地域に住むすべての人々が安心・安全で暮らしていくには、町民全員の協力が必要であることから、町会長の理解をなくして、地域福祉委員会は十分な活動ができないのではないのでしょうか。ただし、町会長はいろいろと多忙でありますので、町会長の負担軽減のために役割を分担するなど、町会の実情に合わせ、取り組みやすい進め方を話し合うことが大切です。

A4補足 町会長には、多様な職務があつたり、1～2年で交代する町会もあつたりと、町内の福祉課題への対応まで充分に関わっていくことが、なかなか難しい場合もあります。しかし、民生児童委員や福祉推進員など一部の方だけがいくら頑張っても限界があり、民生児童委員や福祉推進員の選出が難しくなっている現状からも、地域における福祉活動は、町会長の理解と指示のもとに、町会をあげての取り組みにしていくことが望まれます。

Q5 地域福祉委員会の目的が、町ぐるみで福祉に取り組んでいくことだとすると、より多くの町民に関心を持ってもらうには、どうすればよいのですか？

A5 より多くの町民に関心をもってもらうには、まずは毎年開催する町会の総会において、地域福祉委員会での協議内容や活動について報告することがよいでしょう。町内のいろいろな生活課題を知ってもらい、話し合いを重ねることで、福祉に関心を持つようになり、支え合いの気持ちが育まれていくのではないのでしょうか。

また時には、見守りとか、防災とか、テーマを絞った会合を開いて、地域福祉委員会のメンバーだけでなく、テーマに関係するいろいろな役や立場の方々にも加わってもらい、具体的な対応策や役割分担を協議し、協力し合うことも必要でしょう。